



しもなかっこだよい — 最終号 —

令和6年3月14日
小田原市立下中幼稚園
文責 井島一吉



下中幼稚園は、
【学ぶ力】「やりたいことにじっくりと取り組める子」
【豊かな心】「自分も友達も大切にできる子」
【健やかな体】「元気に思い切り体を動かして遊べる子」
【関わる力】「言葉での伝え合いを楽しめる子」
4つの姿を大切に、子どもの育成を目指します。

園庭では、河津桜の花が葉桜になり、おかめ桜の花が咲き始めました。

今年度を振り返ってみると、本当に保護者の方々や地域の方々に大変お世話になったと感謝申し上げます。

コロナ禍の中、始まった園生活。不自由に見える生活の中でも、子どもたちの好奇心の目や友達と一緒に遊ぶ楽しさ、難しいことにチャレンジしようとする気持ちなどは萎えることなく、今ある環境を楽しみ、精一杯伸び伸びと過ごしていたように思います。

そして、5月8日の5類への移行を境に、日常が少しずつ変わっていきました。子どもたちも今まで以上に、自分で考えたことを実践していきました。そのような中で、地域の方々が行っているラジオ体操に参加させていただき、地域の方々との関わりの中で、一緒に行う楽しさや応援してくれる人がいるから頑張れることなどを経験しました。最後までやり遂げようとしたり、周りの人に励まされたり、友達に刺激を受けたり、いろいろな要因が影響し合って、子どもたちは心も大きく育っています。幼稚園生活で培った力は、これからの小学校生活や年長さんの生活の基礎となって、さらに大きな力の獲得につながっていくと思います。成長し続ける子どもたちをこれからも見守ってまいります。

大切にしていること（遊びを通しての総合的な学び）

今年度も“しもなか元気いっぱいまつり”（年4回）を中心として、遊びを展開してきました。



保護者の皆様には、『遊びは学びである』という教育理念をご理解いただき、子どもたちがやりたいことに夢中になって取り組んできたことの成果を、“協同性”“道徳性・規範意識の芽生え”“社会生活との関わり”“豊かな感性と表現”の育ちとして評価していただいたこと、とても嬉しく思います。今後も、子どもたちの興味や関心に寄り添い、やりたいことに夢中になって取り組むことのできる環境を整えていきたいと思っております。

大切にしていること（異年齢での学び）

下中幼稚園が“複式学級”となり、2年が過ぎようとしています。「初めて集団生活を経験するさくら組」と「1年間、経験を積み重ねてきたつき組」とが共に生活をする中で、たくさんの心のつながりが見られました。4歳児は、5歳児の姿を見て刺激を受け、真似をしながら楽しい遊びをたくさん経験しました。5歳児は、4歳児と共に過ごすことで、人と関わるための“思いやりの心”を学びました。相手がどのような気持ちかを考えたり、いたわったり励ましたり、共に喜んだりできるようになりました。また、年齢だけでなく、その子のもっているもので互いに関わり合いながら学んでいる場面も見られました。そうした経験が、『ようちえんDE遊ぼう！』に來ている未就園児たちにも優しく接することができるのだと思います。

こうした8人で過ごした毎日は、子どもたちにとって、互いの良さを感じることができる素敵な時間だったと思います。



幼稚園関係者委員会

2月26日（月）に第2回幼稚園関係者委員会が行われました。内容は、「保護者アンケートの集計結果」や「幼稚園経営重点目標に対する反省」等から導き出した今年度の成果と課題をふり返し、来年度に向けての経営方針に対しての要望等です。いろいろ貴重なご意見をいただきました。来年度の経営方針に役立てていくつもりです。

委員の皆様、一年間ありがとうございました。



令和5年度卒園記念品

みなさまからいただいた積立金で、“ステップラバーリング”を購入させていただきました。敏捷性の運動やレクリエーションの目印などいろいろなことに使用できます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

あとすこし・・・

今年度もあとわずかです。来年度は、7月までの4ヶ月だけの園舎、園庭での活動になります。よい季節に、ここでのたくさんの思い出をつくっていかうと思っています。

ありがとうございました。

つき組の保護者の方々には2年間にわたり、さくら組の保護者の方々には1年間にわたり、本園の教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。8名の子どもたちと過ごした日々は、私たちにとっても、かけがえのない日々でした。幼稚園で培った力を、これからの生活で発揮して大きく羽ばたいていくことを心より応援しています。

